

総合病院山口赤十字病院 卒後臨床研修プログラム (令和7年度採用版)

臨床研修プログラム参加施設

総合病院山口赤十字病院	基幹型臨床研修病院
山口大学医学部附属病院	協力型臨床研修病院
国立病院機構関門医療センター	協力型臨床研修病院
山口県立総合医療センター	協力型臨床研修病院
医療生活協同組合健文会宇部協立病院	協力型臨床研修病院
済生会山口総合病院	協力型臨床研修病院
日本赤十字社和歌山医療センター	協力型臨床研修病院(救急部門)
医療法人仁保病院	臨床研修協力施設(精神科)
山口県立こころの医療センター	臨床研修協力施設(精神科)
萩市国民健康保険川上診療所	臨床研修協力施設(地域医療)
小野田赤十字病院	臨床研修協力施設(地域医療)
柳井市立平郡診療所	臨床研修協力施設(地域医療)
周防大島町立東和病院	臨床研修協力施設(地域医療)
周防大島町立大島病院	臨床研修協力施設(地域医療)
下関市立豊田中央病院	臨床研修協力施設(地域医療)
津和野共存病院	臨床研修協力施設(地域医療)
長門総合病院	臨床研修協力施設(地域医療)
美祢市立病院	臨床研修協力施設(地域医療)
岩国市立錦中央病院	臨床研修協力施設(地域医療)

総合病院山口赤十字病院
臨床研修管理委員会

目次

- I. 基本理念
- II. 病院の概要
- III. 専門医（認定医）教育病院などの指定
- IV. 協力型病院および協力施設の概要
- V. 臨床研修プログラムの概要
 - 1. プログラム名称（総合病院山口赤十字病院 卒後臨床研修プログラム）
 - 2. プログラムの目的と特徴
 - 3. 臨床研修目標
 - 4. 研修概要
 - 5. 臨床研修管理委員会
 - 6. 各科指導医責任者
 - 7. 研修医の募集および採用、病院見学、問い合わせ先について
 - 8. 処遇
 - 9. 研修計画
 - 10. 卒後臨床研修における基本方針
 - 11. 剖検検討会の研修体制
 - 12. 当直・救急体制

I. 基本理念

わたしたちは、「患者さん中心の地域連携」に取り組み、あたたかな信頼のおける医療を提供することを理念にあげている。

医療の原点は病める人々に自らの持つ知識と技術を駆使して、その苦しみからの解放を促すことである。そのために医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、実践可能な知識の集積と相まって確実な技術の習得が必要であると同時に、医師としての倫理を培っていくことが重要である。病める人々の心に傾聴し、尊厳を守り、診療情報の収集把握を通して治療計画を立て、これらを患者と家族に説明し、治療の選択肢を呈示するコミュニケーションやインフォームド・コンセント能力を養わなければならない。臨床研修では一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるように、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を習得させる。

II. 病院の概要

名称: 総合病院 山口赤十字病院(そうごうびょういん やまぐちせきじゅうじびょういん)

ホームページアドレス: <http://www.yamaguchi-redcross.jp>

所在地: 〒753-8519

山口県山口市八幡馬場 53-1

TEL:083-923-0111 FAX:083-925-1474

許可病床数:377 床

一般病床(329 床)・緩和ケア病棟(25 床)・NICU(9 床)・GCU(6 床)・HCU(8 床)

標榜診療科:

内科、消化器内科、呼吸器内科、膠原病内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、緩和ケア内科、循環器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科(25 診療科)

年間入院患者実数:13,189 人(令和 4 年度)

III. 専門医・専攻医(認定医) 教育病院などの指定

内科	日本内科学会認定医制度教育関連病院
内科	日本専門医機構 内科領域基幹施設
消化器内科	日本消化器病学会認定施設
消化器内科	日本専門医機構 消化器内科領域基幹施設
消化器内科	日本消化器内視鏡学会指導施設
呼吸器内科	日本呼吸器学会認定施設
膠原病内科	日本リウマチ学会教育施設
膠原病内科	日本専門医機構 膠原病・リウマチ内科領域基幹施設
糖尿病・内分泌内科	日本糖尿病学会教育関連施設 I
腎臓内科	日本腎臓学会研修施設
腎臓内科	日本透析医学会認定施設
脳神経内科	日本神経学会専門医制度准教育施設
脳神経内科	日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設
脳神経内科	日本認知症学会専門医制度教育施設
循環器内科	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
循環器内科	日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
緩和ケア内科	日本緩和医療学会認定研修施設

小児科	日本小児科学会専門医制度研修施設
小児科	日本周産期・新生児医学会周産期(新生児)専門医暫定研修施設
小児科	日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設
外科	日本外科学会専門医制度修練施設
外科	日本消化器外科学会専門医修練施設
外科	日本乳癌学会関連施設認定
外科	日本胃癌学会認定施設 B
整形外科	日本整形外科学会専門医研修施設
整形外科	日本専門医機構 整形外科領域Ⅱ型基幹施設
脳神経外科	日本脳神経外科学会研修プログラム(関連施設)
皮膚科	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
泌尿器科	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
産婦人科	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
産婦人科	日本周産期・新生児医学会周産期(母体・胎児)専門医暫定認定施設(指定区分:基幹認定施設)
産婦人科	日本がん治療認定医機構認定研修施設
産婦人科	日本女性医学学会認定研修施設
産婦人科	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
産婦人科	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
産婦人科	日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構連携施設
産婦人科	特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構登録参加施設
耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
放射線科	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 (認定部門:画像診断・IVR部門・核医学部門)
麻酔科	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
病理	日本病理学会研修登録施設
全科	日本感染症学会研修施設

※ 「日本専門医機構」の記載があるものは専攻医関係(随時更新予定)

IV. 協力型病院および協力施設の概要

◆ 協力病院

1. 山口大学医学部附属病院 (全科)
 電話:0836-22-2129 FAX:0836-22-2157
 郵便番号:755-8505
 所在地:山口県宇部市南小串1丁目1番1号
2. 国立病院機構関門医療センター (全科)
 電話:083-241-1199 FAX:083-241-1301
 郵便番号:752-8510
 所在地:山口県下関市長府外浦町1-1

3. 山口県立総合医療センター (全科)
電話:0835-22-4411 FAX:0835-38-2210
郵便番号:747-8511
所在地:山口県防府市大字大崎10077番地
4. 医療生活協同組合健文会宇部協立病院 (内科、整形外科)
電話:0836-33-6111 FAX:0836-39-6920
郵便番号:755-0005
所在地:山口県宇部市五十目山町16-23
5. 山口県済生会山口総合病院 (内科)
電話:083-901-6111 FAX:083-921-0714
郵便番号:753-8517
所在地:山口県山口市緑町2-11
6. 日本赤十字社和歌山医療センター (救急部門)
電話:0734-22-4171 FAX:0734-26-1168
郵便番号:640-8558
所在地:和歌山県和歌山市小松原通4丁目20番地

◆ 協力施設

1. 医療法人仁保病院 (精神科)
電話:0839-41-5555 FAX:0839-41-5577
郵便番号:753-0303
所在地:山口県山口市仁保下郷1915-1
2. 山口県立こころの医療センター (精神科)
電話:0836-58-2370 FAX:0836-58-6503
郵便番号:755-0241
所在地:山口県宇部市大字東岐波4004-2
3. 萩市国民健康保険川上診療所 (地域医療)
電話:0838-54-2014 FAX:0838-54-2125
郵便番号:758-0141
所在地:山口県萩市川上4502-2
4. 小野田赤十字病院 (地域医療)
電話:0836-88-0221 FAX:0836-88-2733
郵便番号:756-0889
所在地:山口県山陽小野田市大字小野田3700番地
5. 柳井市立平群診療所 (地域医療)
電話:0820-47-2032 FAX:0820-47-2032
郵便番号:742-0041
所在地:山口県柳井市平郡1824番地11

6. 周防大島町立東和病院 (地域医療)
電話:0820-78-0310 FAX:0820-78-1885
郵便番号:742-2921
所在地:山口県大島郡周防大島町大字西方571-1
7. 周防大島町立大島病院 (地域医療)
電話:0820-74-2580 FAX:0820-74-4842
郵便番号:742-2106
所在地:山口県大島郡周防大島町大字小松1415-1
8. 下関市立豊田中央病院 (地域医療)
電話:0837-66-1012 FAX:0837-66-1439
郵便番号:750-0424
所在地:山口県下関市豊田町大字矢田365-1
9. 津和野共存病院 (地域医療)
電話:0856-72-0660 FAX:0856-72-0774
郵便番号:699-5604
所在地:島根県鹿足郡津和野町森村口141
10. 山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院 (地域医療)
電話:0837-22-2220 FAX:0837-22-6542
郵便番号:759-4194
所在地:山口県長門市東深川85
11. 美祢市立病院 (地域医療)
電話:0837-52-1700 FAX:0837-52-1820
郵便番号:759-2212
所在地:山口県美祢市大嶺町東分1313-1
12. 岩国市立錦中央病院 (地域医療)
電話:0827-72-2321 FAX:0827-72-3361
郵便番号:740-0724
所在地:山口県岩国市錦町広瀬1072-1

※ 地域医療研修は一般外来研修を含む。

V. 臨床研修プログラムの概要

1. プログラム名称 総合病院山口赤十字病院 卒後臨床研修プログラム

2. プログラムの目的と特徴

総合病院山口赤十字病院を基幹型とし、臨床研修協力病院・施設を中心に、説明と同意に基づく、良質で適正な医療が提供でき、医療の質の向上と安全管理に努力して地域住民から信頼される医療ができるように地域医療、プライマリ・ケアで必要とされる、保健、医療、福祉における基本的な臨床能力を身に付けることを目標とする。更に、プライマリ・ケアの場面で実践可能な知識の集積と確実な技術の習得と同時に、医師としての倫理、コミュニケーション能力、インフォームド・コンセント能力を培っていくことも重要である。これらの基礎となるのが臨床研修期間であり、医師としての基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができる資質・能力の習得を目指すものとする。

3. 臨床研修目標

1. 医師としての倫理を培う
2. プライマリ・ケアに対応できる知識、技能を習得する
3. 救急患者に対応できる初期診療を習得する
4. 治療計画や職種としてのチーム医療を理解する
5. 患者・家族への説明、同意の必要性を理解する
6. 医療内容を正しく記録する
7. 疾病の予防、健康管理、リハビリテーションについて理解し、基本的医療計画が立案できる
8. 職員研修において保険医療制度を正しく理解する
9. 災害救護の初期活動を理解する

4. 研修概要

研修期間:2年間

必須科目:内科(消化器、呼吸器、膠原病、糖尿病内分泌、腎臓、脳神経、循環器)、

救急部門(麻酔科)、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療

※2年間で必修分野をすべて選択した上で、選択科目を選択可能となる。

選択科目:内科(消化器、呼吸器、膠原病、糖尿病内分泌、腎臓、脳神経、循環器、緩和ケア)、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、小児科、産婦人科、放射線科、麻酔科、救急部門

5. 臨床研修管理委員会

1. 構成

委員長兼研修実施責任者:濱田 康宏【教育研修推進室長兼脳神経外科部長】

臨床研修プログラム責任者:山中 直樹【統括責任者兼内視鏡外科部長】

委員:各科指導責任者、各診療科委員、看護部長、事務部長、
臨床研修管理委員会事務局(人事課)、各協力病院・協力施設
代表委員、外部委員 等

2. 開催頻度

毎年3月(研修修了前と研修開始前)に開催する。

原則は年に一度の開催とし、その他必要に応じて委員長が召集する。

(下部委員会を複数回開催しているため、代替とする)

3. 研修医の所属・診療および指導体制について

- ①統括責任者の役割：統括責任者は研修管理委員会プログラム責任者とし、全研修医の研修状況を統括する。
- ②統括責任者は、各科指導責任者と共に定期的(2ヶ月に1回程度)に臨床研修委員会を開き、各研修医の研修状況や進捗、研修体制等の報告を受ける。
- ③指導医の役割:研修医が各科研修中は、各科指導責任者の統括のもと、各科の指導医の指導に従って研修する。
 - ◆指導医
 - 1)各科所属の臨床経験年数7年以上で厚生労働省の定める指導講習会を修了した医師
 - 2)研修管理委員会が決め、各科指導医のもと研修指導に適格であると認めた医師
- ④研修医は、指導医の指導・指示のもと、研修を行う。
- ⑤研修医の自己評価：研修医は各科研修終了後、行動目標および症例経験等について自己評価票の該当箇所に自己評価を入力すること。(併せて、PG-EPOCにおいて自己評価入力を電子でも行う。)
 - ※各科研修後に都度入力を行い、研修修了前に臨床研修管理委員会に報告すること。
- ⑥各科指導責任者は、各科の研修終了時に研修医の研修状況を確認し、適宜助言を与えること。
- ⑦各科研修中の事務手続き：原則日中の業務時間内はローテーションする該当研修科の所属医師としておこなう。時間外・休日については「研修医室」付けとなる。
- ⑧医師及び医師以外の医療職は、各研修医の研修ブロック終了時に「研修医評価票Ⅰ～Ⅲ」を用いて研修医の評価を行う。評価後、評価票は臨床研修管理委員会にて保管する。
- ⑨臨床研修管理委員及びプログラム責任者が、各研修医に対して年2回、研修状況及び進捗について形成的評価(フィードバック)を行う。

6. 各科指導責任者

- 1.原則、各科の指導責任者は各診療科部長とする。診療科部長が不在である診療科については、統括責任者又はその他診療科の診療科副部長が指導責任者となる。
- 2.他病院での指導責任者は、原則当該病院の定めた者(研修実施責任者等)又は臨床研修管理委員会の委員とする。

7. 研修医の募集および採用、病院見学、問い合わせ先について

○研修医の募集及び採用について

- 1.応募資格 令和6年度 第119回医師国家試験合格見込みの者
- 2.募集人員 基幹型 6名(予定)
山口大学・九州大学協力型 若干名
- 3.研修期間 2年間
(協力型臨床研修医の場合は基幹型病院のプログラムによる期間)
- 4.応募方法 臨床研修医採用申込書(PDFファイル) ※ 当院HP参照、
履歴書、卒業見込書、成績証明書
- 5.応募時期 令和6年6月1日より
定員に満たない場合、随時受付
- 6.選考日および場所
 - 日時 受付後通知(7月～8月頃の予定)
 - 場所 総合病院山口赤十字病院
 - 選考方法 面接および書類選考
 - 合格発表 マッチングによる(または採用選考・面接後随時)

○病院見学について

- 1.対象者 主に医学部4年生～6年生、既卒生(左記以外の受け入れは要相談)
- 2.見学日時 月曜日～金曜日の9時～17時の間(土・日・祭日は除く)
- 3.申込方法 病院見学申込用紙(PDF/wordファイル)に記入の上、郵送又はFAXにてお申しただくか、当院ホームページにある「病院見学申し込みフォーム」よりメールにてお申し込み。詳細については病院HPを参照。

○お問い合わせ先

〒 753-8519

山口県山口市八幡馬場53-1

総合病院山口赤十字病院 人事課

TEL:083-923-0111 FAX:083-925-1474

E-mail:jinnji@yamaguchi-med.jrc.or.jp

8. 処遇

身分	研修医(常勤嘱託医)	
給与	1年次	430,000円/月(手当込)
	2年次	460,000円/月(手当込)
勤勉手当	1年次(夏季・冬季合計)	500,000円/年
	2年次(夏季・冬季合計)	600,000円/年
	※在職期間によって変動あり	
時間外手当	有	
当直	原則 月4回 (1回 20,000円+実績額)	
休暇	年次有給休暇	1年次 : 10日
		2年次 : 11日
	その他休暇	夏季休暇、創立記念日、年末年始休暇 等
研修医の宿舎	借上げ宿舎(病院契約の宿舎) 有 ※宿舎利用については希望者のみ	
家賃等補助	宿舎利用時(家賃負担0円、管理費 10,000円/月) ※宿舎利用なしの場合は家賃補助 有	
研修医室	有	
医師賠償責任保険	病院加入有/個人加入可	
外部研修の補助	一部補助有	
社会保険	公的医療保険	組合健康保険
	公的年金保険	厚生年金
	労働者災害補償保険法の適用	有
	国家・地方公務員災害補償法の適用	無
	雇用保険	有

※ 当院の借上げ宿舎利用時には、現物給付の課税額及び宿舎利用の諸費用については別途負担

9. 研修計画

研修期間 : 2年間

研修開始日 : 2025(令和7)年4月1日

研修医オリエンテーション

1. 当院の組織、理念、基本方針、役割について
2. 職業倫理、基本的態度について
3. 個人情報保護について
4. 医療安全について
5. 院内感染防止について
6. メンタルヘルスケアについて
7. 事務手続きについて
8. オーダリングシステムについて
9. カルテ管理・文献検索・診療録について
10. 救急体制・当直体制について
11. 薬剤部について
12. 地域連携について
13. 検査部について
14. 放射線科部について
15. 医療保険について
16. チーム医療について
17. 栄養指導について
18. クリティカルパスについて 他 その他実技研修・講義を行う。

10. 卒後臨床研修における基本方針

1. 研修プログラムは必須科目の他、研修医の進路・希望等に柔軟に対応し、編成する。
2. 内科24週、救急部門12週の研修は必須として組み込む。救急部門は救急外来に属し、救急担当の医師の指導を受ける。また、救急部門12週のうち、4週は麻酔科の研修を選択することが出来る。
3. 必須の内科または外科または小児科研修のうち、1年次最初の3週はオリエンテーションを含む 基礎的な研修を行う。
4. 外科、小児科、産婦人科、精神科は4週以上を必須として組み込む。研修期間については8週以上が望ましいが、状況に応じて柔軟に対応する。
5. 内科系は一般内科、消化器、循環器、呼吸器、腎臓、膠原病、糖尿病・内分泌、脳神経、放射線科等の各診療科で研修可能である。また、外科系は外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科等の各診療科で研修が可能である。
6. 内科系、外科系、小児科等各科を研修中は、その科の救急患者に対応して指導医のもと積極的に研修を行う。
7. 地域医療については、2年目に協力施設(協力病院や診療所等)で4週以上を必須として組み込む。8週以上が望ましいが、状況に応じて柔軟に対応する。
8. 精神科は仁保病院または山口県立総合医療センターまたは山口県立こころの医療センターまたはその他の協力型臨床研修病院及び協力施設において研修を行う。
9. 一般外来研修は4週以上を必須として組み込む。8週以上が望ましいが、状況に応じて柔軟に対応する。
10. 内科、外科、小児科の各科の研修および地域医療研修において、一般外来研修を並行研修として行うことが出来る。
11. 将来専門とする診療科を中心にしたプログラムを作成できる。

■具体的な研修プログラムの例■

●ジェネラリスト型

1. 総合型プログラム

1年目

2年目

24 週 内科	12 週 救急部門	12 週 外科	12 週 産婦人科	12 週 小児科	8 週 精神科	4 週 地域医療	20 週 選択診療科
---------------	-----------------	---------------	-----------------	----------------	---------------	----------------	------------------

※救急部門:12週のうち、4週は麻酔科選択可能。

※選択診療科:研修医の将来専攻したい科 等。

2. 中間型プログラム

1年目

2年目

24 週 内科	12 週 救急部門	8 週 外科	4 週 精神科	8 週 小児科	8 週 産婦人科	4 週 地域医療	36 週 選択診療科
---------------	-----------------	--------------	---------------	---------------	----------------	----------------	------------------

※救急部門:12週のうち、4週は麻酔科選択可能。

※選択診療科:研修医の将来専攻したい科 等。

3. 選択優先型プログラム

1年目

2年目

24 週 内科	12 週 救急部門	8 週 小児科	4 週 産婦人科	8 週 外科	4 週 精神科	4 週 地域医療	40 週 選択診療科
---------------	-----------------	---------------	----------------	--------------	---------------	----------------	------------------

※救急部門:12週のうち、4週は麻酔科選択可能。

※選択診療科:研修医の将来専攻したい科 等。

●スペシャリスト型

1. 産婦人科・小児科優先プログラム

1年目

2年目

24 週 内科	12 週 救急部門	12 週 産婦人科	12 週 小児科	4 週 外科	4 週 精神科	4 週 地域医療	32 週 産婦人科 小児科
---------------	-----------------	-----------------	----------------	--------------	---------------	----------------	------------------------

※救急部門:12週のうち、4週は麻酔科選択可能。

※32週のうち、それぞれ産婦人科・小児科を何週回るか選択可能。

2. 外科系優先プログラム

1年目

2年目

24 週 内科	12 週 救急部門	12 週 外科	8 週 小児科	4 週 産婦人科	4 週 精神科	4 週 地域医療	36 週 選外 択科系
---------------	-----------------	---------------	---------------	----------------	---------------	----------------	----------------------

※救急部門:12週のうち、4週は麻酔科選択可能。

※外科系選択科:外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、産婦人科、皮膚科、眼科より選択可能。

3. 内科系優先プログラム

1年目

2年目

24 週 内科	12 週 救急部門	12 週 外科	8 週 小児科	4 週 産婦人科	4 週 精神科	4 週 地域医療	36 週 選内 択科系
---------------	-----------------	---------------	---------------	----------------	---------------	----------------	----------------------

※救急部門:12週のうち、4週は麻酔科選択可能。

※内科系選択科:一般内科、消化器、循環器、呼吸器、腎臓、膠原病、糖尿病・内分泌、脳神経、緩和ケア科、放射線科より選択可能。

11. 剖検検討会(CPC)の研修体制

研修医は、剖検症例についてCPCを行い、CPC終了後は報告書(CPCレポート)を作成し、指導医に提出する。CPCには病理医のほか、症例の主治医と関連する診療科の医師が同席する。

臨床病理カンファレンス(CPC)は原則として年1回開催する。

症例を聴講する研修医は、病理所見とその示す意味について理解した上、CPCに出席する。

CPCでは、研修医が症例の経過と臨床的問題点を提示し、執刀医が肉眼及び組織所見について提示する。

研修医は、CPCのディスカッションを併せて、執刀医の指導のもと、症例を総括したCPCレポートを作成する。

12. 当直・救急体制

研修医は、各科の研修中に指導医とともに当直を行う。原則月4回の当直を行い、指導を受ける。救急体制においては、研修医は救急外来に属し、12週各科の救急外来の研修を受ける。救急部門12週のうち、4週は麻酔科研修を選択することが出来る。研修時間は8時30分～17時とする。

救急部門では急患対応、外来診察、処置等を行い、入院となる患者は救急処置室で処置を行い、主治医に受け渡すまでの研修とする。主に救急外来での対応、問診、理学所見、検査、治療、入院決定などの初期対応を指導する。

各科の指導医(救急当番医)、看護師のもとで、積極的に処置対応の指導を行う。救急処置室所属であるが、急患が少ないときは、研修医が研修したい部門(例えば、エコー検査、放射線部門、検査部など)で研修を行うことも認める。その際、急患に対応して必ずオンコールする。

救急部長及びプログラム責任者を救急部門の指導責任者とする。

2024年3月6日